

令和4年度 家庭教育充実研修会
学校，家庭，地域が連携し，
「生きる力」を育むPTA活動
～家庭教育力アップ共通実践事項を通して～
不易流行、持続可能なPTA活動を目指して
(変えるべきことと変えてはいけないこと)
※9/12(月)PTA評議員会で説明済み

令和4年9月12日(月)
鹿児島市立星峯西小学校
校長 谷口源太郎

家庭教育は大きな転換期を迎えています

本日は、このような流れでお話します。

- 1 学校及びPTAの概要
- 2 学校と家庭を繋ぐデジタル通信システムの活用
- 3 家庭教育力アップ共通実践事項の取組
- 4 コロナ禍における実践の進め方
- 5 取組結果及び成果・課題

不易流行


松尾芭蕉「去来抄」から

持続可能な

Sustainable

1 学校及びPTAの概要

本校の歴史，児童数，学級数，PTA戸数等



創 立	42年目
児童数	614名
学級数	25学級
教職員数	53名
P世帯数	457戸
校 区	12地区
校 訓	
「かしこく なかよく たくましく」	

県PTA新聞(小学校版)2面に本校の取組が掲載されました

2022年05月02日

鹿児島県PTA新聞

5月号 令和4年4月20日 (2)

教育情報

チーム星峯西小学校で取り組む「EdTech (エドテック)」とは？

鹿児島市立星峯西小学校

あまり馴染みのない言葉かもしれませんが、「EdTech (エドテック)」とは、教育・学習領域にIT技術を導入することを指していて、Education (エデュケーション：教育) と Technology (テクノロジー：工学) を組み合わせた造語です。日本語に直訳すれば「教育工学」という意味になります。このEdTechには、大きく分けて2つの分野があります。一つは、A「児童生徒の学びに直接的に有効なもの」これがいわゆる「教育の情報化」になります。もう一つが、B「学び以外の効率化を図るもの」です。

現在、本校ではこれからの情報化社会・デジタル時代に主体的に対応できる子供たちを育成するために、様々な実践を行うとともに、学校と家庭間のコミュニケーションの効率化に努めているところです。令和3年度に取り組んだEdTechをAとBそれぞれについて具体的に紹介します。

A 子供たちの学びに直接的に有効な取組

- ① テレビ会議システム (Teams) を活用した校内行事 (始業式、終業式、児童総会等)
- ② テレビ会議システムを活用した遠隔授業 (トヨタ九州宮田工場のリモート社会科見学)
- ③ テレビ会議システムを活用したオンライン授業 (4年以上の全クラス)
- ④ 学習ソフト (ロイロノート) を活用した日常の授業実践
- ⑤ デジタル教材 (タブレットドリル) を活用した学力補充指導 (朝のドリル学習、家庭学習) GIGAスクール構想で整備された一人一台のタブレット端末 (Teams、ロイロノート、デジタルドリルなど) を学校行事、授業、補充指導

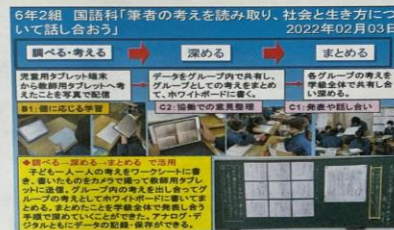


図1：A—④ロイロノートを活用した日常の授業実践



図2：A—⑤デジタルドリルを活用した学力補充指導の様子

B 学び以外の効率化を図るコミュニケーションツールとしての取組

- ① YouTube オンライン配信 (保護者説明会、運動会、卒業式等)
- ② 学校だより等のペーパーレス化とネット配信 (学校HP、メール配信)
- ③ Google フォームを活用した各種アンケート (学校評価アンケート等)

このように EdTech をAとBの二つの側面から推進していくことが重要だと考えています。

現在、日本の社会は、すべての業界でDX (デジタル・トランスフォーメーション：デジタル化して業界全体を変革していくことを進めています。教育界のDXの動きを見据えながら私たち大人 (教職員・保護者) もICTリテラシー (より専門的な「知識」「応用力」「活用能力」) を高めながら、子供たちに関わっていくことが必要だと思っています。

(校長 谷口 源太郎)

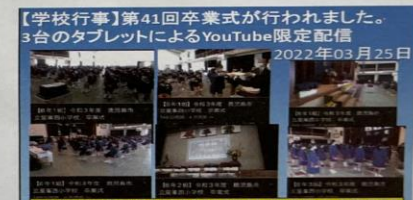
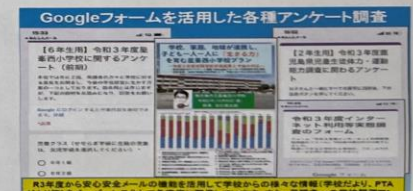


図3：B—①YouTubeオンライン配信



5月2日(月)県PTA新聞(小学校版)5月号に本校の取組が掲載されました。内容は「チーム星峯西小学校で取り組むエドテックとは？」というタイトルです。これからの学校の教育活動やPTA活動の方向性を示す記事。**学校と家庭をデジタルで繋ぐ取組を紹介しました。** ※エドテックとは教育工学。教育分野でデジタル化を図ること。

2 学校と家庭をつなぐ デジタル通信システムの活用

- ①各種行事等のYouTubeのオンライン配信
- ②学校だより等のペーパーレス化とネット配信
- ③Googleフォームを活用した各種アンケート調査
- ④メール機能を活用した欠席遅刻届の導入

入学式の様子をYouTube配信

2022年04月07日



4月6日(水)本校の新学期スタートの様子がMBCテレビのニュースで放送されました。お昼のニュースでは始業式の様子が、夕方のニュースでは入学式の様子が放送されました。

入学式についてはコロナ対策として参加者1名の制限をしたため、その対応策としてYouTubeライブ配信をしたことにも触れていただき大変ありがたかったとのこと。



学校HP・学校だよりを活用したフィードバック

【家庭教育力アップ共
学校，家庭，地域が
子ども一人一人に「
を育む星峯西小学校

～令和4年度 前期 学校評価

- ・ 8月17日～26日アンケート調査→Google
- ・ 回答者数：377/614(回答率61.4%)

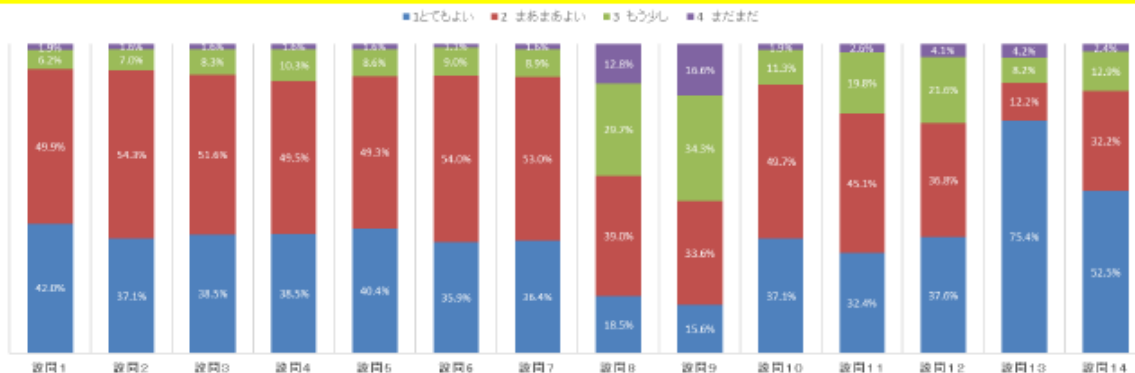
鹿児島市立星峯西
令和4年9月1日

縦棒グラフ上の数値は、1とてもよいと2まあまあよいを合わせた数値です。設問8、9、11、12、14は家庭教育力アップ共通実践事項

R3前期	90.8	87.6	85.5	82.7	87	88.3	90.1	57.3	47.2	89.1	75.6	75	89.8	84.5
R3後期	87.9	87.6	85.0	86.1	89.4	90.9	90.7	58.8	55.9	87.4	79.2	70.7	87.0	85.3

R4年度学校評価(前期)

R4前期	91.9	91.4	90.1	88.0	89.7	89.9	89.4	57.5	49.2	86.8	77.5	74.4	87.6	84.7
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------



- 1 教育方針等をPTAやその他の会合で、保護者に分かりやすく伝えていきますか。
- 2 家庭や地域と連携を図り、開かれた学校になっていると思いますか。
- 3 保護者が相談しやすい雰囲気になっていますか。
- 4 学校は子どもや学校の様子をよく伝えていきますか。
- 5 基礎学力向上の取組をしていると思いますか。
- 6 安全指導を徹底し、事故防止に努めていると思いますか。
- 7 子どもが学校に来ることを楽しみにするような学校・学級づくりに努めていますか。
- 8 家庭学習の習慣化に努めましたか。
- 9 お子さんは、朝読みまたは夕読みを行いましたか。
- 10 学校生活に満足した様子で帰宅していると思いますか。
- 11 お子さんは、気持ちよいあいさつや「はい」という明るい返事をしていますか。
- 12 お子さんは、家庭でお手伝いをしていますか。
- 13 お子さんは、歩いて8時までに登校していますか。
- 14 お子さんは「早寝・早起き・朝ごはん」ができていますか。

前・後期1回(年2回)学校評価と合わせてGoogleフォームでアンケート調査を行うことで、ペーパーレス化を進め、業務の効率化を図る。現在の取組状況を定期的に学校HPに掲載してフィードバックすることで取組意識を高める。

学校HP・学校だよりを活用したフィードバック

【学校だより「希望の虹」9月号】R4.9.1

家庭教育力アップPTA 共通実践事項の前期評価結果について

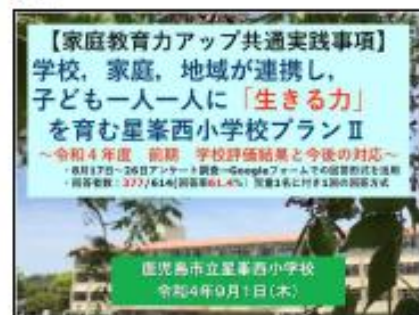
校 長 谷口彌太郎

本日から令和4年度2学期がスタートしました。本日の欠席者数は33名（うちコロナ関連は24名）。7、8月は、新型コロナ第7波の襲来によって非常に多くの方々が感染又は濃厚接触者になって非常に大きな影響が出ましたが、本日、校内テレビ放送を使って始業式を予定通り行うことができました。

今回は、先日取った学校評価のうち、「家庭教育力アップPTA 共通実践事項」の取組状況について集計が完了しましたので、その結果分析をお知らせいたします。ご存じの通り、共通実践事項は5つの取組を全家庭で行うことにしています。

①「あいさつ運動」、②「ノーメディアタイム」、③「一家庭一家訓」、④「早寝早起き朝ごはん」、⑤「読書活動(うち読)」です。

これまで3回のアンケート調査を実施しました。1回目はR3.8月です。いわばこの取組を始めたばかりの実態です。2回目のアンケートを取ったのが、この取組が動き始めて約半年経ったR4、2月ごろでした。そして、今回が取組を始めて1年後、3回目のアンケートになっています。そのことを踏まえた上で今回の結果を見ていきたいと思います。さて棒グラフの右の数値に着目しながら見ていきたいと思います。



	R3.8→	R4.2→	R4.8	比較
8 家庭学習の習慣化に努めましたか？（ノーマディアタイム）	57.3	58.8	57.1	▲0.2
9 朝読み、夕読みを行いましたか？（読書活動、うち読）	47.2	55.9	49.2	+2.0
11 気持ちの良いあいさつや明るい返事（あいさつ運動）	75.6	79.2	77.5	+1.9
12 家庭でのお手伝いをしていますか？（一家庭一家庭）	75.0	70.7	74.4	▲0.6
13 休日は家族で遊ぼうと意識していますか？	80.8	87.0	87.6	▲0.2



3. 2を合わせると学校全体で37.1%。情報化社会でよりよく生きていくためにはデジタル機器を自分自身でコントロールする力を身に付けていく必要があります。そのためには、学校での情報利用の場面とともに家庭でのルールづくり、マナーなど学校と家庭が連携して継続的に取り組んでいく必要があると見ます。



1. 2を合わせると平成全体で42.2%。家庭教育力アップは通算施策の一つです。コナレ策の開始で学校側等の責任ができたことも影響していると考えられます。状況を見ながら学校側等の役割も進め直すので、家庭でも子どもが頑張るのを応援していくの努力をお願いします。



1. 2を合わせると学歴生体で87.6%。けい等による退学を除き、基本的には多い8割までに生徒が退学です。就学時の経済的状況が影響して退学しその3になりまでの退学があるようです。早稲田大学等で生計手段を覚えることが大切です。



も、25台合わせると学校全体で77.8%。家庭用車はアップ系通学専用車の一つです。あいびつがいつでもどこでもいざれとでもききようにするためには、その車を友人が所有することが本望です。学校でも重点推進事項に併せて推進していますが、東京のほとんどは実現していません。



もし、これを合わせると学校全体で74.4%。家庭教育力アップ共通実践事項の一つです。家庭内で子どもに読書の機会に役立つかと平均1.4等の役割を有えることは、子どもにとって良い経験になります。まずは家庭内で年々の発達段階に応じて少しずつ読書の機会を多くしてあげ、いつか子どもが読書が大好きになります。

[illegible]

学校評価と一緒に共通実践事項もGoogleフォームで調査し、集約したデータを学級PTAで話し合う資料として活用する。学校だよりでも学校HPに掲載して全家庭に広報

学校だより等のペーパーレス化とネット配信により業務の効率化、簡素化を図る

【学校だより「希望の虹」10月号】

「家庭教育カブッーそのひと年間を大切に〜」

校長 谷口 源太郎

毎朝7時半から8時15分まで養護教諭と一緒に正門に立って子どもたちと「あいさつ4手指消毒」を行っています。4月に本校に赴任したことからずっと続けているところです。

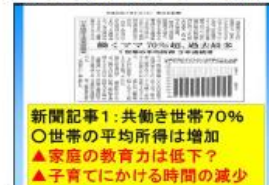
できるだけ名前を呼んでいたり、元気なあいさつができたことを褒めたりして声かけを行っています。子どもたちとの距離感をもっと縮めたいとの思いもあってのことです。遅刻してくる子どもには「校長先生は、あなたが来るのを待っていたよ」とか「来てくれてよかった。校長先生はうれしい」とかその子に聞こえるようにつぶやいています。

子どもたちの中には、表情が暗かったり、疲れていたり、家庭で何かあったことがあるのかなと思われ子どもたちも一部ですがあけられます。目を合わせないで学校に入ってくる子、帽子をかぶらずシャツを出したままの子、とても眠たそうにして気力がなさそうな感じの子などもごく一部ですがいます。

大人にも共通していることですが、私たちの表情は「心の様子」を表していると言われる。子どもたちは、保護者からの愛情に包まれて、自分が愛されていると実感できると自然に心が穏やかになり、心が満たされて安定し、それが表情に現れます。

昨今、両親共働き世帯が増えています。3年前の新聞記事ですが、2017年国民生活基礎調査では70.5%の世帯が共働き世帯という結果が出ていました。現在ももっとこの数値が増えているかもしれません。朝早くから夜遅くまで働いて家に帰ってゆっくりとくつろぎたいという思いは誰でもあります。そんなときに、「学校でどんなことがあったか」、「先生の話をもっと聞いてしっかり勉強してほしい?」、「友だちと仲良く遊んでいる?」、そんなことを思いながら少し子どもに声をかけていただければありがたいです。子どもたちはきっと「親に見守られている」と感じることでしょう。

今年度8月から取り組み始めた家庭教育カブッー共通実践事項も早いもので2か月目に入ろうとしています。ノーメディアタイム、家庭一家庭、あいさつ運動(家族、近所の方へ)、読書活動、早寝早起朝ご飯の5つの実践事項についての取組をお願いしています。この2か月の取組を振り返ってみます。ノーメディアタイムや家庭一家庭とはどんな活動なのか、どのように取り組んでいけばいいのかを保護者の方には迷われていることも多いかと思いますが、先日、お願いした学校評価項目の中にもこの5つの実践事項が含まれていました。取組の結果をご覧いただけたでしょうか?5つの実践事項の一つは家庭教育で欠かすことができないことばかりです。



【2017年国民生活基礎調査の新聞記事】



【星基西小学校 家庭教育カブッー共通実践事項】

【学校だより: 希望の虹 11月号】

子どもたちをよりよく育てるためのカリキュラム(教育課程)編成について

校長 谷口 源太郎

秋もだいぶ深まってまいりましたが、保護者の皆様はいかがお過ごしでしょうか。日頃から本校の教育活動に対する深い理解と御協力に感謝申し上げます。11月5・6日の6年生学年旅行はお陰様で全学年に亘って計画どおりに開催することができました。現在、子どもたちは12月11日(土)に開催予定の校内持久走大会に向けて朝のランニングに一生懸命取り組んでいます。

学校は、これらの学校行事を通じて子どもたちを一回りも二回りも大きく成長させたいという思いをもって取り組んでいます。学校はこの時期から来年度の「カリキュラム(教育課程)編成」に取り組みます。カリキュラム(教育課程)とは、子どもたちをよりよく教育するための教育計画のことです。各学年の教育活動、どのような学習・目的・内容、どのような活動内容に盛り込むのか、どのような方法を用いて教育していくかなど、教科領域ごとに目標・内容・方法を具体的に計画立案していきます。それを定める際に重要となる「基礎となるものが**現在の子どもたちの姿や実態**です。子どもたちの良いところは伸ばし、課題などあるところは改善していきます。そのための平素をカリキュラム(教育課程)にしっかりと組み込んでいくことが重要となります。

さて、この2年間はコロナ禍により学校、PTA、地域の様々な行事・イベントが延期や中止になりました。開催してもコロナ対策をしっかりとって活動内容をいつもの半分にしたり、時間短縮をしたり、参加の制限をしたりするなどして実施してきたところです。今年度に行われた各種行事の活動内容、開催方法を振り返ってみると、その行事で得たもの、本当に必要な活動だけを残して行ったことが分かると思います。

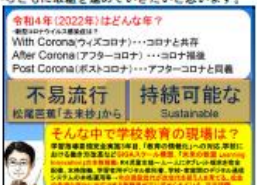
運動会を例に説明すると、各学年が行った項目は2項目。①かけこ・短距離走などの「走る項目」と、②ダンス・踊りなどの「表現運動の項目」または学級対抗団体項目の計2項目です。6年生だけは最終学年ということで、短距離走・種別、学級対抗リレー(団体項目)の3項目にしました。これが**体育学習で学ぶことと関連する運動会での種目となる部分**です。今年度も行えなかったPTA種目、敬老種目、卒業種目などは運動会に対する付け加えられた派生的な項目であることが分かると思います。スリム化された運動会に対する保護者の意見は様々です。「午前開催になったことで弁当を作らなくて良かった」、「6年生のPTA種目は良かった」、「などの声が聞かれました。学校としては、今後コロナ感染症が完全に収束した場合、3つの対応案があると考えています。

①案: すべての項目を完全に廃止。→ 終日開催 → 昇降、各種項目の準備必要
②案: 今年度分に加え一部だけ元に戻す。→ 愛を伝える → 弁当が必要
③案: 今年度分のうち半数程度を維持する。→ 午前開催 → 弁当なし(学校)

このことについては、今後、各学年の意見を聞きながら取りまとめていきたいと思っています。『学校・家庭・地域が連携し、子ども一人一人に『生きる力』を育む星基西小学校プラン』に取り組み始めて8か月が過ぎようとしています。これまでに子どもたちの健全育成に向けて様々な新たな取組を行っています。その成果が子どもたちの姿となって少しずつ現れてきています。今後、更によい教育活動ができるように学校は保護者や地域の方々に学校の基本的な考え方をしっかりと伝えずるとともに、保護者や地域の声に耳を傾けながらともに取組を進めていきたいと思っています。



【来年度学校経営の重点課題】



【来年度はどんな年?見通し】

【学校だより「希望の虹」2月号】次年度の学校経営グランドデザイン(案)

校長 谷口 源太郎

令和3年度も残り2か月になって参りました。日頃より本校教育活動に対する御理解と御協力に心より感謝申し上げます。

現在、学校では令和4年度教育課程編成作業を進めています。来年度はどのような学校経営方針に基づいて教育活動を行っていくのか、その具体的な実施計画の準備作業をしているところです。基本的には令和3年度の学校経営方針をベースに作ってあります。

学校と家庭が一体となって子どもたちを健全に育てていくことを基本的な考え方にしています。そのために知能体についてより効果的な教育活動が実践できるようにしていきます。

今年度の取組の成果と課題に基づきながら、教職員だけでなく、保護者や地域からいただいた学校評価等へのご意見も参考にしながら改善を図っていきます。現時点の原案を作りましたのでご覧ください。



【学校経営グランドデザイン(案)】

R3年度から安心安全メールの機能を活用して学校からの様々な情報(学校だより、PTAだより等)をペーパーレス化して各家庭に配信しています。また、保護者への学校評価アンケート、各種実態調査等についてもGoogleフォームを活用して配信し、自動集約をしています。そうすることで紙の経費削減、印刷・丁合、集計等の業務削減につながりました。保護者の手間が減るとともに、学校側の事務の効率化を図ることができました。

Googleフォームを活用した各種アンケート調査

15:33

あんしんメール

【6年生用】令和3年度星峯西小学校に関するアンケート（前期）

本校では年に2回、保護者の方々に学校に対する意見をお聞きし、今後の学校経営に生かす方策の一つとしております。御多用とは存じますが、下記の説明をお読みになり、回答をお願いします。

Google にログインすると作業内容を保存できます。詳細

*必須

児童クラス（せせらぎ学級に在籍の児童は、交流学級を選択してください）*

☐ 6年1組

☐ 6年2組

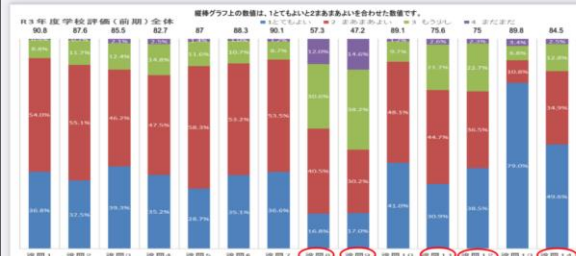
学校、家庭、地域が連携し、子ども一人一人に「生きる力」を育む星峯西小学校プラン

～令和3年度前期学校評価結果と今後の対応～

・8月23日付けアンケート連絡→Googleフォームでの回答形式を活用
・回答者数：549/630(回答率87.1%) 児童1名に付き1回の回答形式



鹿児島市立星峯西小学校
令和3年10月8日(金)
校長 谷口源太郎



- 1 教育方針等をPTAやその他の会合で、保護者に分かりやすく伝えていきますか。
- 2 家庭や地域と連携を図り、開かれた学校になっていると思いますか。
- 3 保護者が相談しやすい雰囲気になっていますか。
- 4 学校は子どもや学校の様子をよく伝えていますか。
- 5 基礎学力向上の取組をしていると思いますか。
- 6 安全指導を徹底し、事故防止に努めていると思いますか。
- 7 子どもが学校に来ることを楽しみにするような学校・学級づくりに努めていますか。
- 8 家庭学習の習慣化に努めましたか。
- 9 お子さんは、朝読みまたは夕読みを行いましたか。
- 10 学校生活に満足した様子が帰宅していると思いますか。
- 11 お子さんは、気持ちよいあいさつや「はい」という明るい返事をしていますか。
- 12 お子さんは、家庭でお手伝いをしていますか。
- 13 お子さんは、多いて8時までに登校していますか。
- 14 お子さんは「早寝・早起き・朝ごはん」ができていますか。

15:52

あんしんメール

【2年生用】令和3年度鹿児島県児童生徒体力・運動能力調査に関わるアンケート

お子さんと一緒にすべての質問に回答後、下の送信ボタンを押してください。

15:49

あんしんメール

令和3年度インターネット利用等実態調査のフォーム

フォーム「令和3年度インターネット利用等実態調査のフォーム」の回答の受け付けは終了しました。間違いであると思われる場合は、フォームのオーナーにお問い合わせください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。不正行為の報告・利用規約・プライバシーポリシー

Google フォーム

R3年度から安心安全メールの機能を活用して学校からの様々な情報(学校だより、PTAだより等)をペーパーレス化して各家庭に配信しています。また、保護者への学校評価アンケート、各種実態調査等についてもGoogleフォームを活用して配信し、自動集約をしています。そうすることで紙の経費削減、印刷・丁合、集計等の業務削減につながりました。保護者の手間が減るとともに、学校側の事務の効率化を図ることができました。

学校と家庭を結ぶデジタル通信システム(欠席・遅刻届)

保護者の皆様へ

令和4年2月1日

鹿児島市立星峯西小学校 校長 谷口 源太郎

欠席・遅刻の学校への連絡について

時下、保護者の皆様には、日頃より本校教育活動へのご理解・ご協力ありがとうございます。
令和4年度からお子様の遅刻や欠席につきましては、メールでの連絡を基本といたします。

つきましては、今年度2月から3月をその移行期間とします。これまでの連絡方法(欠席届)でもかまいませんが、可能な限りメールでの欠席届をご利用ください。**ただし感染症が心配な場合については必ず電話での連絡をお願いします。**

(1) メールによる連絡(前日19:00以降、当日8:00☆厳守☆までをお願いします。)

- ※メールによる欠席・遅刻届の入手・提出方法の詳細は本通知をご覧ください。
- ※確認などが必要な場合は、学校より連絡することがございます。
- ※兄弟姉妹が一緒に欠席等の場合は、再度届け出専用メールアドレスへ空メールを送信するか、届け出完了画面の「新規届け出追加」より届け出をお願いします。
- ※8:00以降の入力は、受付が出来ず学校から確認の電話が行く場合があります。

(2) 電話による連絡(感染症が疑われる場合や、直接担任と話をした方がよいと思われる場合)

■ メールによる欠席・遅刻届の入手・提出方法 ■

メールによる欠席・遅刻届の提出は、以下の手順でお願いします。

- 1 スマートフォン・パソコンから、欠席・遅刻届け出システムURLに接続
▼欠席・遅刻届け出システムURL
<https://www.tmix.co.jp/maillsys/sys-0199/>

※欠席・遅刻届け出システムのQRコードが読み取れない場合は、新規メール作成画面より欠席・遅刻届け出専用メールアドレス(abs-hns@ansin-anzen.jp)へ空メールを送信してください。
※ガラケーでは、欠席・遅刻届け出システムのURLを開くことができません。ガラケーからの欠席・遅刻の届け出は、新規メール作成画面の宛先に欠席・遅刻届け出専用メールアドレス(abs-hns@ansin-anzen.jp)を入力または下記QRコードを読み取り、空メールを送信してください。
※空メールとは、件名や本文を入れずに送信するメールのことです。

■ 欠席・遅刻届け出専用メールアドレス →

- 2 「欠席・遅刻届け」をタップ
メール起動後、空メールを送信

- 3 返信メール本文中のURLをタップ
「新規届け追加」をタップ

- 4 必要事項を入力後、画面下部「入力内容確認」をタップ

- 5 入力内容に誤りがないか確認後、画面下部「登録」をタップ

以上で「欠席・遅刻届け出システム」への登録完了です。

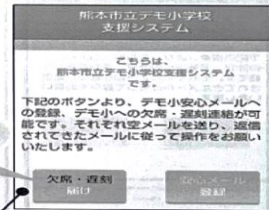
❓ 空メールを送っても返信が届かない方へ

ドメイン(anzen.jp)指定受信の設定をお願いします。
※メールアドレス指定ではありません。

■ ドメイン指定受信設定方法 →



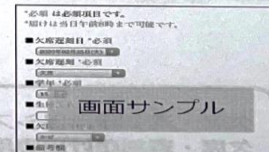
1



2



欠席・遅刻届け出システムのホーム画面へのショートカットの作成方法は、裏面をご覧ください。



*必須 は必須項目です。

*届けは当日午前8時まで可能です。

■ 欠席遅刻日 *必須

2022年01月28日(金) ◇

■ 欠席・遅刻 *必須

欠席 ◇

■ 学年組 *必須

1年1組 ◇

■ 児童氏名 *必須

■ 欠席遅刻理由 *必須

かぜ ◇

■ 備考欄

■ 届け出者氏名 *必須

連絡先電話番号 *必須

R4年2月1日から試験的に運用開始。感染症が疑われる場合や担任に直接相談したいことは電話による連絡をする。それ以外の欠席・遅刻届については、この安心安全メールの届け出システムに登録して学校に連絡をする。保護者の手間が減る、学校側は朝の時間帯の電話連絡の件数が減ることに繋がり、事務の効率化を図ることができる。

家庭教育力アップ共通実践事項
をどのようにして設定したのか？

3 家庭教育力アップ 共通実践事項の取組

本校PTA活動研究テーマの設定について

鹿児島市PTA連合会努力目標

生涯学習の観点に立ち、活力ある健全な児童・生徒を育成するため、家庭・学校・地域との緊密な連携を図りながら、共に学び実践するPTAを目指す。

学校の教育課題

学力低下、いじめ、不登校、問題行動、ネット依存、虐待、自死、けが・事故等

確かな学力、教育の情報化、人間関係の希薄化、社会性の欠如、健康・体力・安全、学校における働き方等

本校PTAの課題

共働き世帯増加、役員負担感、子育ての悩み、進学、しつけ、児童虐待等

校区・地域の課題

少子高齢化、過疎化、地域担い手不足、伝統文化継承、防災等

星峯西小学校PTA研究テーマ

学校，家庭，地域が連携し，「生きる力」を育むPTA活動
～星峯西小学校 家庭教育力アップ共通実践事項の取組～

学校，家庭，地域が連携し，「生きる力」を育むPTA活動
～家庭教育力アップ共通実践事項の取組～

知育：かしこく

読書活動
(うち読)

確かな学力

自分で課題を見付け、自ら

ノーメディアタイム

※学校経営方針とも合致した内容で
※家庭教育の中でこれだけは最低限必要と
考える5つのことを設定

あいさつ運動
(家族・近所)

「生きる力」

豊かな人間性

自らを律しつつ、他人と
ともに協調し、他人を思い
やる心や感動する心など

健康・体力

たくましく生きるた
めの健康や体力

早寝・早起き
朝ご飯

徳育：なかよく

体育：たくましく

一家庭一家訓

家庭教育力アップ共通実践事項 の具体的な取組とは？

- ①あいさつ運動(家庭・近所)
- ②一家庭一家訓
- ③ノーメディアタイム
- ④読書活動(うち読)
- ⑤早寝早起き朝ご飯

【共通実践事項の具体的取組】

① あいさつ運動



PTAではこれまで輪番制で保護者のあいさつ運動に取り組んできた。

連携

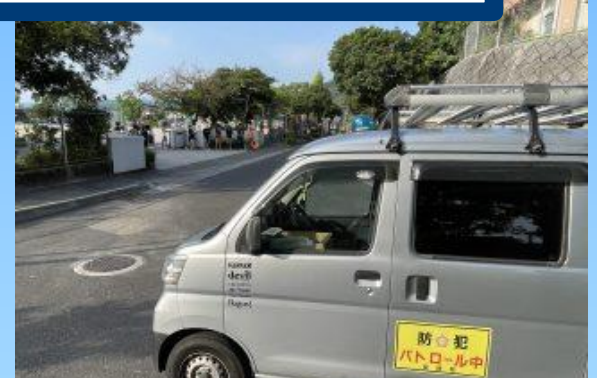
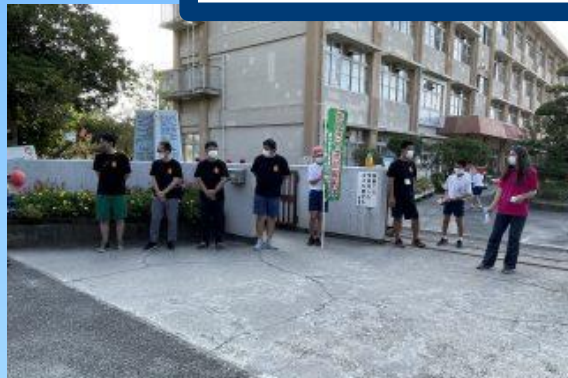


学校正門前での生活委員会、児童会による朝のあいさつ運動

【あいさつ運動】学校と家庭が連携した「あいさつ運動」「交通安全指導」＋おやじの会



おやじの会も参加・協力(通学路点検・あいさつ運動)(毎月第2土)



朝の時間帯に保護者の方々が輪番制で通学路の各箇所に立って交通安全指導とあいさつ運動をしてくださっています。各家庭でも「家庭教育力アップPTA共通実践事項」の一つとして家族内での「あいさつ運動」に取り組んでいます。9月からは「おやじの会」とも連携して取り組み始めました。

【共通実践事項の具体的取組】

② 一家庭一家訓



各家庭でのお手伝いの
写真と差替える

基本的な生活習慣の確立や家族の一員として自覚を促す取組（食器洗いや炊飯器洗いのお手伝いをする子どもの様子）

【一家庭一家訓のよさ】

- 家庭で過ごす時間を有効に使えるようになる。
- 家族各自の自主性と責任感を育てられる。
- 家族の関わりが増え、家族一人一人の役割がはっきりする。

【共通実践事項の具体的取組】

③ ノーメディアタイム



各家庭での家庭学習の
写真と差替える



保体部メディアコントロール
アンケート資料を掲載

テレビを消して学習に取り組む子ども
の様子

学習する子どもを励ましたり教えたり
する保護者の様子

ノーメディアタイムとは、子どもたちが生涯にわたって自主的・主体的にメディアを使えるようにするために、親子で家庭内ルールをつくり取り組んでいくこと→**実施状況をGoogleフォームで把握する**

【共通実践事項の具体的取組】

③ ノーメディアタイムとの関連事業

令和4年度 みんなで考えよう情報モラル

鹿児島市PTA連合会からの提言！

すべての責任は保護者です！

わが子を加害者、被害者にさせないために持たせるなら、保護者がすべての責任を！

深い傷
一生残る
言葉の凶器

清水中学校1年 今村 優那

忙しい？
ゲーム・スマホは
出来るのに？

高小中学校2年 児島 有川 希依

インターネット、
正しくつかえば
ひろがるえがお

鹿児島市PTA連合会

0120-783-574

令和3年度 PTA 情報モラルについての標語

家族みんなのマイルール
それぞれ守って楽しく活用

ネット社会 親子で守ろう
人権フィルター

子のスマホ知らぬ分からは
子守れぬ一緒に確認活用ルール

大丈夫！
あなたとスマホのデイスタンス

スマホ置き
家族の団欒心の充電

親こそがネットとつき合う
お手本に

松原小学校 幸田 育恵
紫原中学校 有村 博子
紫原中学校 長野 由紀
坂元中学校 前園 さゆり
石谷小学校 養田 裕子
春山小学校 浜島 恵美子

鹿児島市PTA連合会
後援 鹿児島市・鹿児島市教育委員会

令和3年度 小学生5・6年 情報モラルについての標語

消せないよ
あなたが書いたあの言葉

SNS
はまっつけてしまつてSOS

安心だ
フィルタリングで身を守る

押す前に
しっかり確認危機管理

スマホより
大切にしたい家族との時間

SNS
そのかきこみでSOS

西田小学校 五年 浅野 莉心
大龍小学校 五年 香月 里菜
草牟田小学校 五年 谷口 諒
南方小学校 六年 濱崎 晴斗
原良小学校 六年 牧山 愛実
星峯東小学校 六年 宮園 心悠

鹿児島市PTA連合会
後援 鹿児島市・鹿児島市教育委員会

ノーメディアタイムと関連させて市P連で呼びかけている「**情報モラルについての標語**」への**応募**に取り組むようにすることで、子どもたちが生涯にわたって自主的・主体的にメディアを使えるようにするために、親子で家庭内ルールづくりに取り組んでいます。

【共通実践事項の具体的取組】

④ 読書活動(うち読)



音読カードの見届け

各家庭でのうち読の
写真と差替える



家庭でのうち読

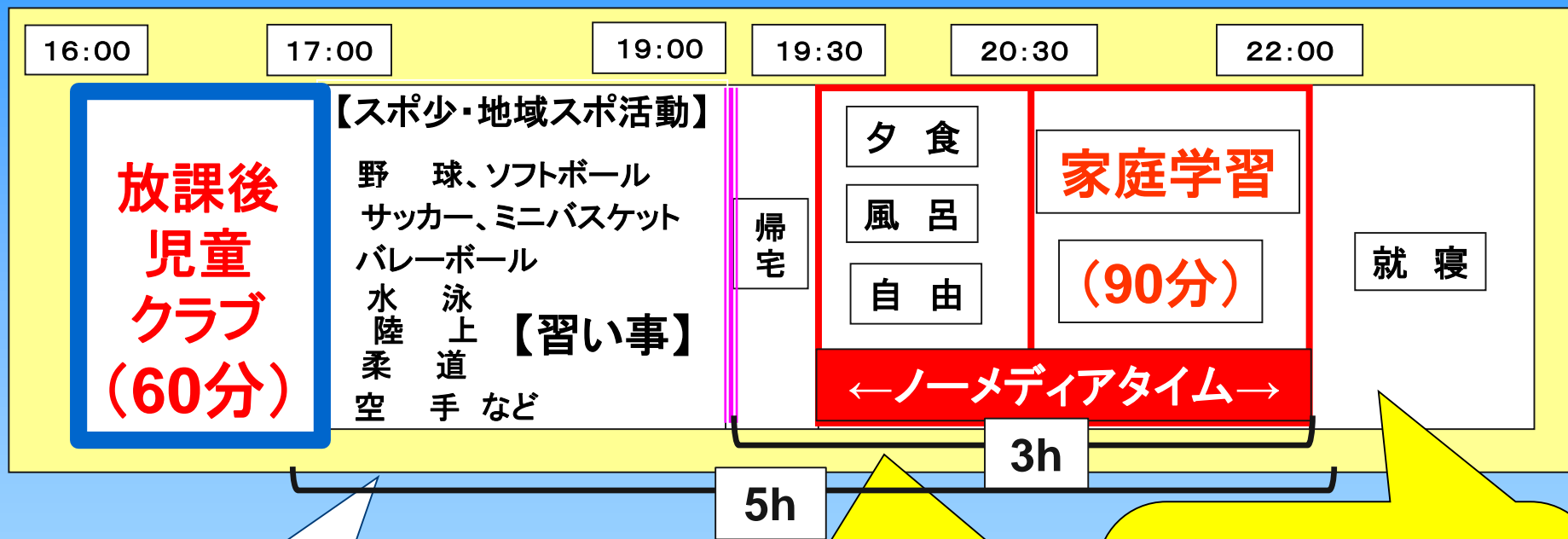


地域ボランティアグループによる読み聞かせの活動との連携

【共通実践事項の具体的取組】

⑤ 早寝早起き朝ごはん

【平日にスポ活動・習い事等をしている児童生徒の場合】



【スポ少等指導者】

- ・練習日(休養日2日)、練習時間(2時間程度)の厳守
- ・17時からスタート
- ・19時に終了、帰宅

【保護者へのお願い】

- ・夕食、風呂までの時間帯(19:30)
 - ・勉強を始める時刻(20:30)
 - ・就寝時刻(22:00)
- 3カ所で保護者から子どもへの声かけを確実にしてください。
- ※ノーメディアタイム

【保護者へのお願い】

- ・就寝(22:00までに)
 - ・翌朝起床(7:00までに)
 - ・朝食を食べさせる
 - ・登校(8:00までに)
- ※早寝早起き朝ご飯

「ノーメディアタイム」「早寝早起き朝ごはん」による効果

星峯西小学校家庭学習の目安時間

○学年 × 10 + 20分 (読書除く)

1年生 30分 + 20分 2年生 40分 + 10分

3年生 50分 4年生 60分

5年生 70分 6年生 80分

※中1: 90分 中2: 100分 中3: 110分

関 連

家庭学習 60・90 (ろくまる・きゅうまる)
運動………県P連の取組

6年生の家庭学習

連携

担任の賞賛・励まし

[illegible][illegible]

自校オリジナルの家庭学習ノートの活用



家庭学習における家庭学習ノートとデジタルドリルの併用、子どもたちのノートを掲示しています。



**家庭教育力アップ共通実践事項を
どのように取り組んできたか？**

4 コロナ禍における 家庭教育力アップ 共通実践事項の進め方

共通実践事項の目的、内容、方向性を皆が共通理解して、学校と家庭と地域の三者がそれぞれの役割を担える仕組みを作って取り組むようにすることが肝要

【家庭教育】家庭の教育力を高めるための取組について校長が話をしました

2021年07月01日



学校長から今後の家庭教育について15分間のテレビ番組を制作して学校と家庭が連携して取り組む「家庭の教育力向上プログラムの構築」についての話がありました。

◆【知育に関すること】→校訓「かしこく」を育成する取組

①**ノーメディアタイム**(子どもが帰宅してからゲーム、スマホ、テレビなどをしない時間帯をつくり、親子での語らいや学習に集中して取り組む環境をつくる取組)

②**うち読**(家庭で読書に親しむ環境をつくる取組)

◆【徳育に関すること】→校訓「なかよく」を育成する取組

③**一家庭一家訓**(我が家で大切にしたい決まりをつくって取り組む)

④**家族、近所の方へのあいさつ運動**(家族でのあいさつ、近所の方に自分から進んであいさつをする取組)

◆【体育に関すること】→校訓「たくましく」を育成する取組

⑤**早寝早起き朝ごはん**(就寝時刻、起床時刻を決めて実践する取組、必ず朝食を食べてから登校する習慣をつくる)

学校組織とPTA組織が連携した取組のイメージ

「生きる力」(知・徳・体)の育成

【学校(校務分掌)組織】

◆学年部等

◆教科領域部等

◆教務部

・教務、研修、教育方法、広報渉外、
特別支援教育、人権同和教育

◆生徒指導部

・生徒指導、教育相談、特別活動、
読書指導

◆保健部

・保健指導、安全指導、体育指導、
給食指導、県境衛生、防火防災

実践

【PTA共通実践事項】

- ①あいさつ運動
- ②一家庭一家訓
- ③ノーメディアタイム
- ④読書活動(うち読)
- ⑤早寝早起き朝ご飯

PとTが連携

【PTA組織】

◆三役・執行部

◆PTA専門部活動

- 事業部
- 生活広報部
- 保健体育部

◆学年部

- 学年・学級PTA
- ※家庭教育学級
- ※家庭教育充実研修会

◆地域部

- 地域PTA

◆おやじの会

5 5つの共通実践事項とPTA組織を関連づけた具体的な取組方

【実践の基本的な考え方】

(1) これまで取り組んできている事業で共通実践事項に関連する活動は基本的に継続していく。

学校組織（校務分掌）	家庭教育力アップ共通実践事項	PTA組織
T：生徒指導部 C：生活委員会（あいさつ運動）	① あいさつ運動	P：三役・執行部が企画→各学年・学級へ依頼し、輪番制で実施。継続
T：生徒指導（不登校等の対応） 情報教育（インターネット調査等） C：	② ノーメディア	P：保体部「チャレンジ・メディア・コントロール」実施。継続
T：生徒指導部 C：6年生朝のボランティア活動	③ 一家庭一家訓	P：各家庭で手伝いやきまりの時間をつくり、実践
T：生徒指導部（読書指導係：朝読） C：図書委員会（音読報道、読書祭り）	④ 読書活動（うち読）	P：各家庭で読書の時間をつくり、実践。 C：地域ボランティアグループが実施。継続
T：保健部（体育指導係、保健指導係、給食指導係） C：体育委員会（体力づくり） 保健委員会（健康観察配り） 給食委員会（給食放送呼びかけ）	⑤ 早寝早起き朝ごはん	P：各家庭で早寝早起き朝ごはんのきまりを親子でつくり、実践。 * 学校保健委員会

- ・共通実践事項はこれまでの取組を可能な限り生かすようにする。
- ・PTA活動は3学期制→2学期制(2サイクル)を導入
- ・可能な限りデジタル化を推進することにより、PTA業務の負担軽減、業務の簡素化、効率化を図れるようにする。

家庭教育力アップ共通実践事項を
どのように取り組んでいくか？
1年間2サイクル(P→D→C→A)

具体的な取組の流れ

P: 第1回学級PTAで目標設定

D: 各家庭で実践

C: 取組状況を学校評価アンケートで
調査、集約

第2回学級PTAで協議・情報交換

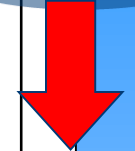
A: 改善策を立てて後期に取り組む

学級PTA活動の取組状況の把握・分析とFB

第1回学級PTA:各学級・学年ごとにPTA共通実践事項の努力点の設定

学 年	努力点：①ノーメディア②一家庭一家訓③あいさつ運動④読書活動⑤食育
1 年生	① テレビを消す時間をつくり，手伝いをしたり家庭で話をしたりする。 ② 基本的な生活習慣に関する約束を決める。 ③ おはようございます，行ってきます，いただきます，ごちそうさまなどのあいさつを元気よく心を込めて言えるようにする。 ④ 子どもの毎日の本読み（音読）を聞く。

Plan



Do



Action

前・後期の

取組状況の把握:アンケート調査実施

取組状況の集約:アンケート集計

コロナ禍によって学級PTAが開催できない中でデジタル通信システム等を有効に活用して実態把握や情報発信して運営してきた。

学校HP、学校だよりの活用:PTA共通実践事項のアンケート調査の分析結果，ペーパーレス化によって全家庭にメール配信する形で対応。
※ FB:フィードバック

家庭教育力アップ共通実践事項設定の仕方(例)

我が家のPTA共通実践事項

年

児童氏名

①進んであいさつ（学校・家庭・地域）をしよう。

②一家庭一家訓（手伝い等）

③ノーマデイアタイム
（〇時～〇時・〇時間）

④読書活動（うち読二〇分）

⑤早寝・早起き・朝ご飯

早寝

時・早起き

時



※学年に応じて遅くとも午後10時までに就寝
※午前6時から7時までの時間帯で起床時間を設定する。


※曜日を限定せず毎日、継続して取り組めるように、時間帯（19:00～20:30）や時間（1時間30分）などで設定するようにする。

※家庭でのお手伝いを中心にルールやきまりなどを設定する。できるだけ肯定的な文で設定する。
（例）「お風呂そうじを毎日する。」

家庭掲示用：PTA共通実践事項設定の仕方（例）

家庭の教育力アップ共通実践事項 （低学年用）


⑤	④	③	②	①	
早寝・早起・朝ごはん （ ）時 早起き（ ）時	読書活動（うち読書） （ ）時～（ ）時	ノーメディアタイム（〇時～〇時まで等） （ ）時～（ ）時	一家庭一家訓（お手伝い等） （ ）時～（ ）時	すすんであいさつ（かっこう・かてい・ちいき） （ ）時～（ ）時	（ ）時～（ ）時



鹿児島市立星峯西小学校

家庭の教育力アップ共通実践事項

家庭掲示用 中・高学年用	児童氏名 （ ）年（ ）組
① 進んであいさつ（学校・家庭・地域）をしよう。	（ ）時～（ ）時
② 一家庭一家訓（手伝い等）	（ ）時～（ ）時
③ ノーメディアタイム（〇時～〇時・〇時間）	（ ）時～（ ）時
④ 読書活動（うち読二〇分）	（ ）時～（ ）時
⑤ 早寝・早起き・朝ごはん	（ ）時～（ ）時



実効性があり、継続した取組にするために、

この用紙をテレビの横など、よく見えるところに掲示して、時間になったら保護者が子どもに声かけができる環境をつくる。

全学級のPTA活動年間努力点の設定とその取組

学 年	努力点：①ノーメディア②一家庭一家訓③あいさつ運動④読書活動⑤食育
1年生	① テレビを消す時間をつくり、手伝いをしたり家庭で話をしたりする。 ② 基本的な生活習慣に関する約束を決める。 ③ おはようございます、行ってきます、いただきます、ごちそうさまなどのあいさつを元々よく心を込めて言えるようにする。 ④ 子どもの毎日の本読み（音読）を聞く。



実践



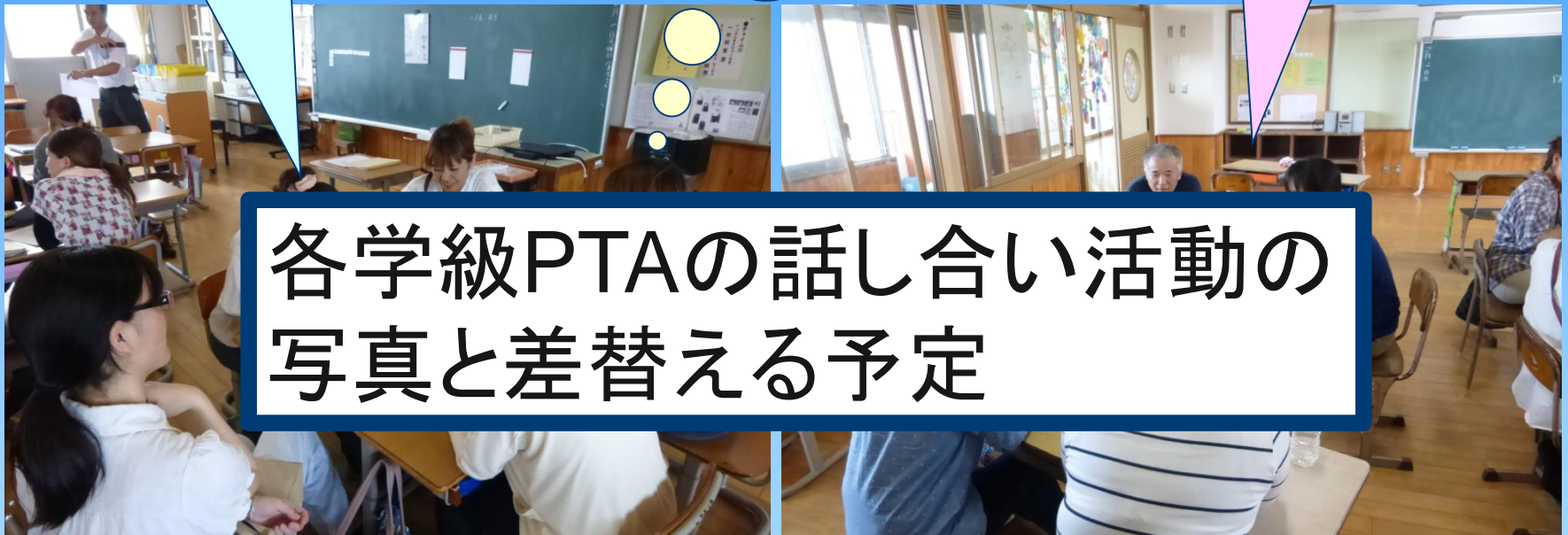
- ①全学級のPTA努力点に5つの共通実践事項を位置づけて1年間（2サイクル）取り組む。
- ②授業参観で多くの保護者の参加を促し、**学級PTA**を開き、共通実践事項の取組について**グループでの話し合い活動**を設定する。
- ③各家庭での様子を一人ずつ話すことで情報交換が図れるようにするとともに、保護者の意識を高めるようにする。

情報交換を深める少人数の話合い活動

先生、こんな時は
どうすればよい
ですか？

なるほど！
今度うちで
もやってみ
よう！

うちではこんな
ふうに取り組ん
だらうまういま
したよ。



各学級PTAの話し合い活動の 写真と差替える予定

学期中に取り組んだ成果や課題を学級PTAで話し合う。5, 6人の小グループによる話し合い活動を設定することで、保護者が各家庭での様子やノウハウを一人ずつ出し合い、中身のある情報交換をする。**（ワークショップ参加型の協議）**

→保護者も**「主体的・対話的で深い学び」**で課題を共有する。

5 取組結果及び成果・課題

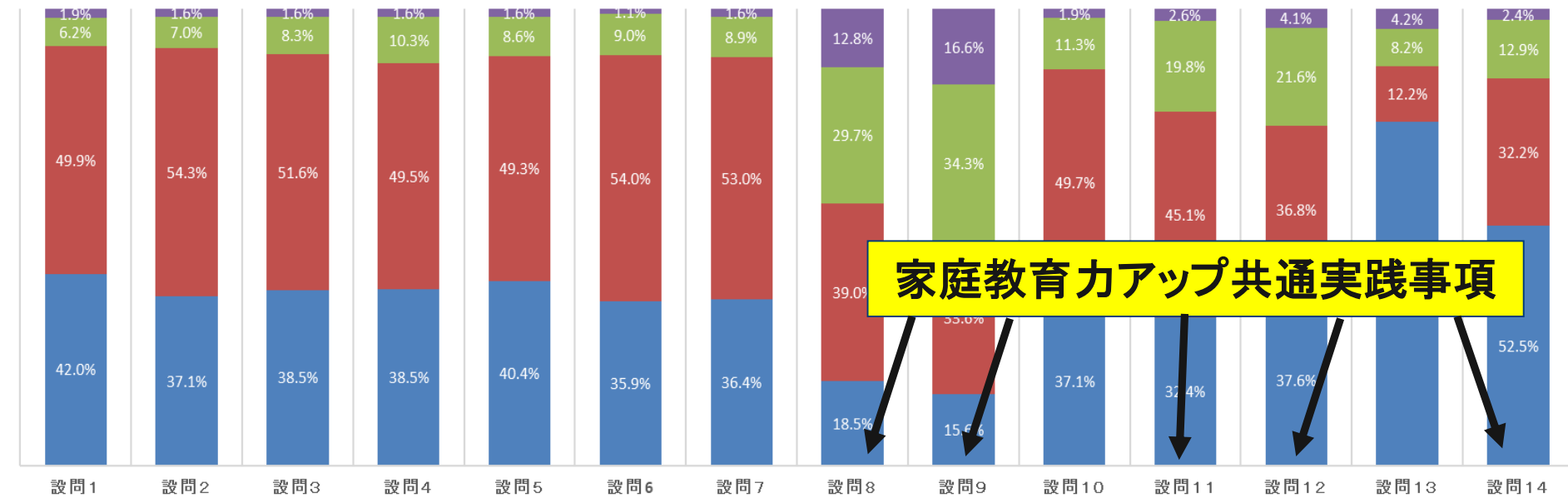
- ・学校評価アンケートと一緒に年2回（前期・後期）アンケートを取って取組状況を把握
- ・Googleフォームを活用して集約、結果分析
- ・アンケート結果に考察等を加えて学校HPに掲載してフィードバック

R3前期	90.8	87.6	85.5	82.7	87	88.3	90.1	57.3	47.2	89.1	75.6	75	89.8	84.5
R3後期	87.9↓	87.6→	85.0↓	86.1↑	89.4↑	90.9↑	90.7↑	58.8↑	55.9↑	87.4↓	79.2↑	70.7↓	87.0↓	85.3↑

R4年度学校評価(前期)

R4前期	91.9↑	91.4↑	90.1↑	88.0↑	89.7↑	89.9↑	89.4↓	57.5↑	49.2↑	86.8↓	77.5↑	74.4↓	87.6↓	84.7↑
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

■ 1とてもよい ■ 2 まあまあよい ■ 3 もう少し ■ 4 まだまだ



家庭教育力アップ共通実践事項

- 教育方針等をPTAやその他の会合で、保護者に分かりやすく伝えていますか。
- 家庭や地域と連携を図り、開かれた学校になっていると思いますか。
- 保護者が相談しやすい雰囲気になっていますか。
- 学校は子どもや学校の様子をよく伝えていますか。
- 基礎学力向上の取組をしていると思いますか。
- 安全指導を徹底し、事故防止に努めていると思いますか。
- 子どもが学校に来ることを楽しみにするような学校・学級づくりに努めていますか。
- 家庭学習の習慣化に努めましたか。
- お子さんは、朝読みまたは夕読みを行いましたか。
- 学校生活に満足した様子で帰宅していると思いますか。
- お子さんは、気持ちよいあいさつや「はい」という明るい返事をしていますか。
- お子さんは、家庭でお手伝いをしていますか。
- お子さんは、歩いて8時までに登校していますか。
- お子さんは「早寝・早起き・朝ごはん」ができていますか。

令和4年度前期の学校評価（保護者から）

8 家庭学習の習慣化に努めましたか。

→ノーメディアタイム

【R3前期評価】

65.4 60.5 58.2 51.3 54.4 53.5 57.3

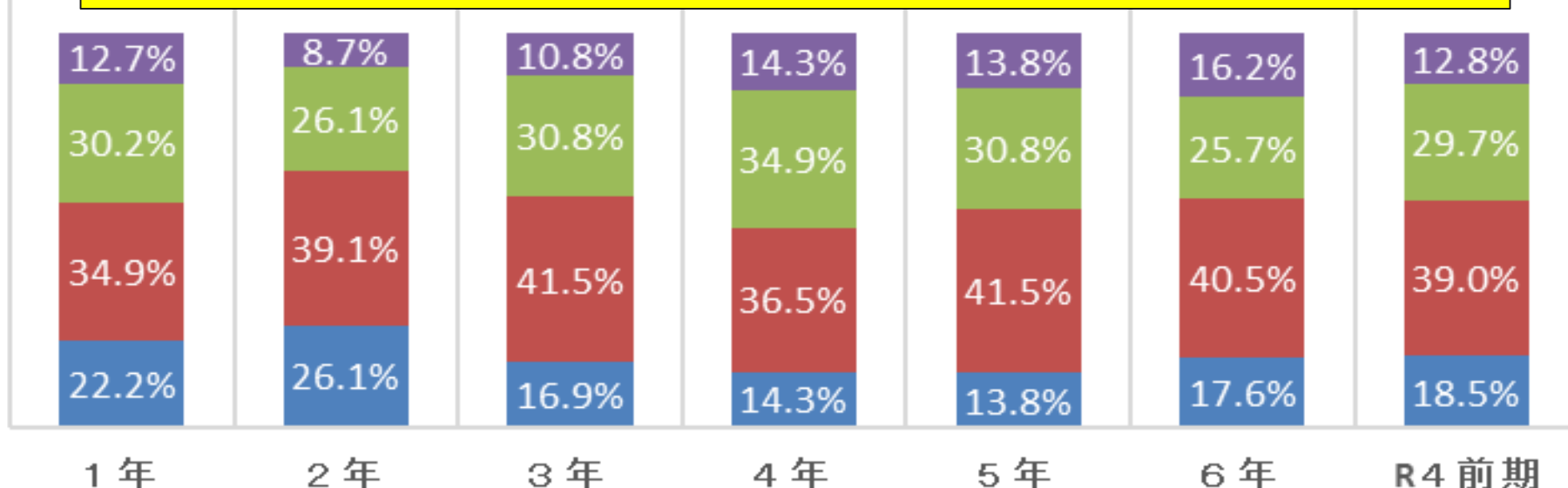
※この数値は1と2を合わせた数

【R3後期評価】

74.1 55.0 60.5 56.0 52.3 54.9 58.8

【R4前期評価】

57.1 65.2 57.7 50.8 55.3 58.1 57.1



1, 2を合わせると学校全体で**57.1%**。情報化社会でよりよく生きていくためにはデジタル機器を自分でコントロールする力を身に付けなくてはなりません。そのためには、学校での情報モラル教育とともに家庭でのルールづくり、マナーなど学校と家庭が連携して継続的に取り組んでいく必要があると思います。

令和4年度前期の学校評価（保護者から）

9 お子さんは、朝読み夕読みを行いましたか。 →読書活動（うち読）

【R3前期評価】

61.4 50.6 42.3 45.6 43.7 37.4 47.2

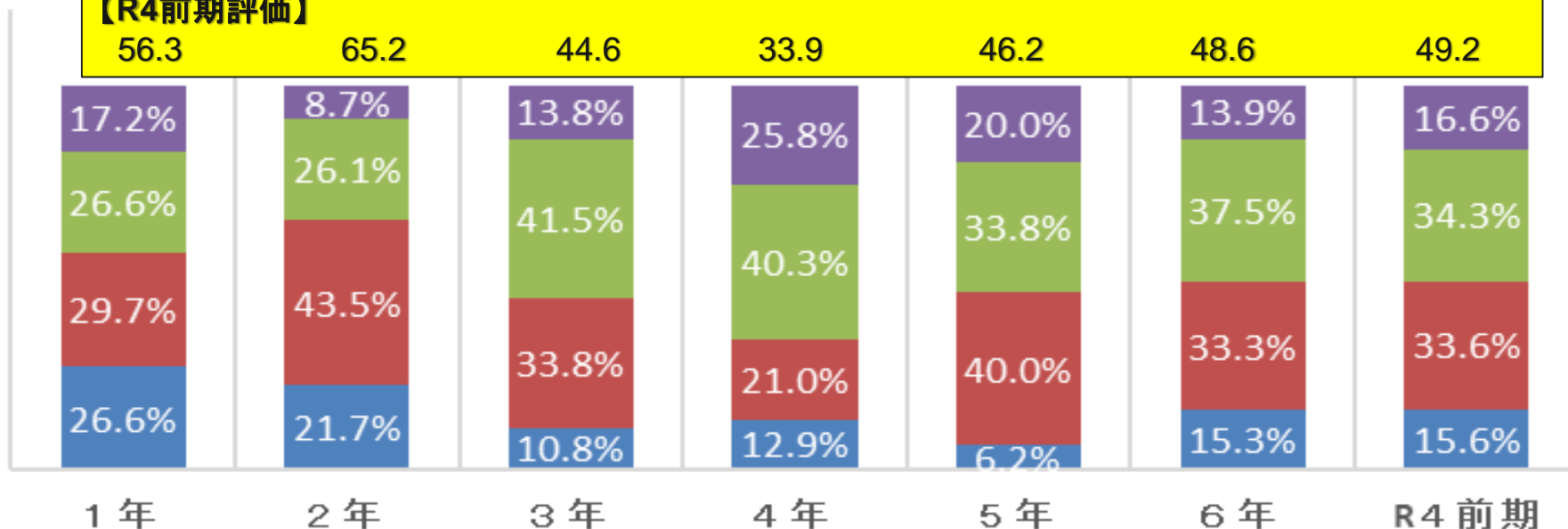
※この数値は1と2を合わせた数

【R3後期評価】

64.2 62.9 55.2 48.7 51.7 42.7 55.9

【R4前期評価】

56.3 65.2 44.6 33.9 46.2 48.6 49.2

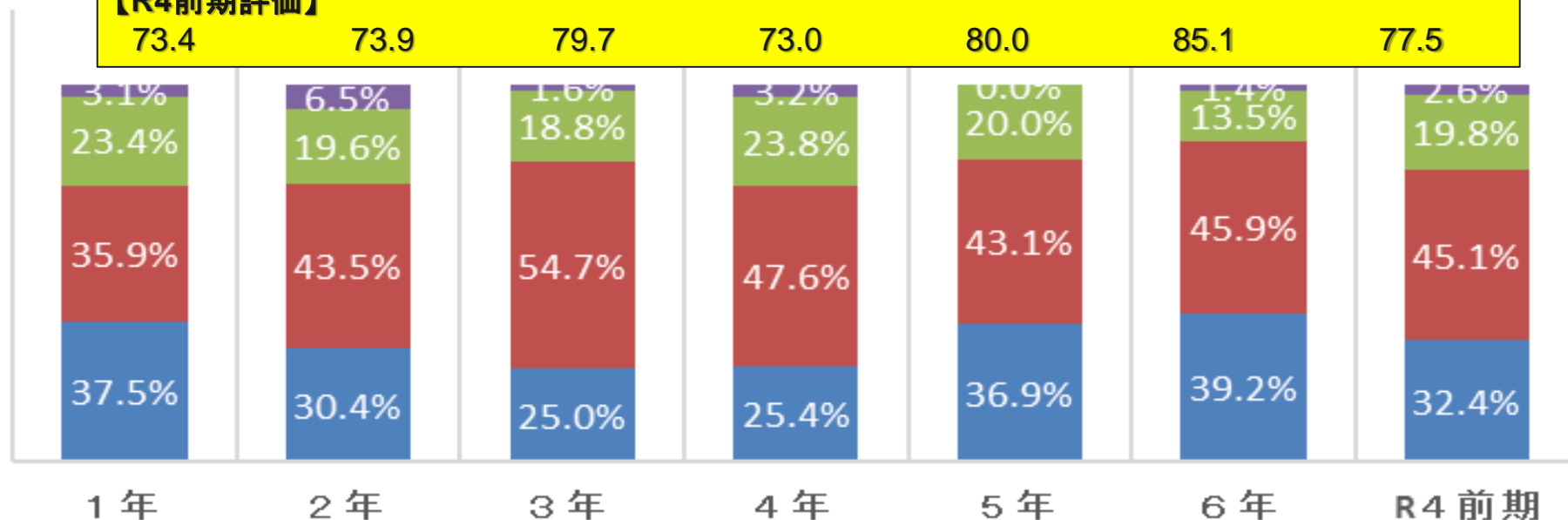


1, 2を合わせると学校全体で49.2%。家庭教育力アップ共通実践事項の一つです。コロナ対策の関係で学校図書の貸出ができなかったことも影響していると考えられます。状況を見ながら学校図書の持ち帰りも始めますので、家庭でも子どもが読書のできる環境づくりの御協力をお願いします。

令和4年度前期の学校評価（保護者から）

11 お子さんは、気持ちよいあいさつや「はい」という
明るい返事をしていますか。→あいさつ運動

【R3前期評価】 ※この数値は1と2を合わせた数						
71.8	73.9	77.6	72.2	83.5	74.8	75.6
【R3後期評価】						
82.8	82.0	77.0	80.3	76.2	76.8	79.2
【R4前期評価】						
73.4	73.9	79.7	73.0	80.0	85.1	77.5

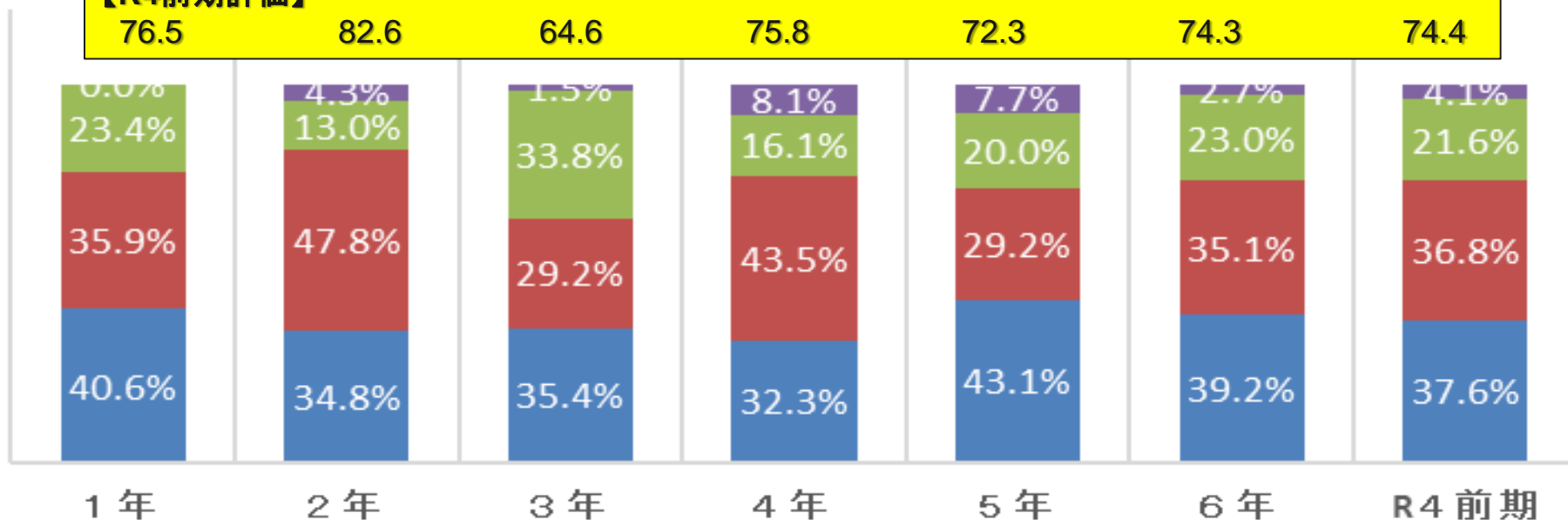


1, 2を合わせると学校全体で**77.5%**。家庭教育力アップ共通実践事項の一つです。あいさつがいつでも・どこでも・だれとでもできるようにするためには、その姿を大人が示すことが大事です。学校でも重点指導事項に掲げて指導していますが、家庭内でもぜひ実践していただければありがたいです。

令和4年度前期の学校評価（保護者から）

12 お子さんは、家庭でお手伝いをしていますか。
→ 一家庭一家訓

【R3前期評価】 ※この数値は1と2を合わせた数						
76.9	76.1	68.4	71.8	77.2	79.6	75
【R3後期評価】						
74.6	71.9	72.1	65.8	63.2	76.8	70.7
【R4前期評価】						
76.5	82.6	64.6	75.8	72.3	74.3	74.4



1, 2を合わせると学校全体で74.4%。家庭教育力アップ共通実践事項の一つです。家庭内で子どもに家族のために役立つお手伝い等の役割を与えることは、子どもにとって良い経験になります。まずは家庭内で学年の発達段階に応じて少しずつ家庭内の役割を与えて実践していただければありがたいです。

令和4年度前期の学校評価（保護者から）

13 お子さんは、歩いて8時までに登校していますか。

【R3前期評価】

※この数値は1と2を合わせた数

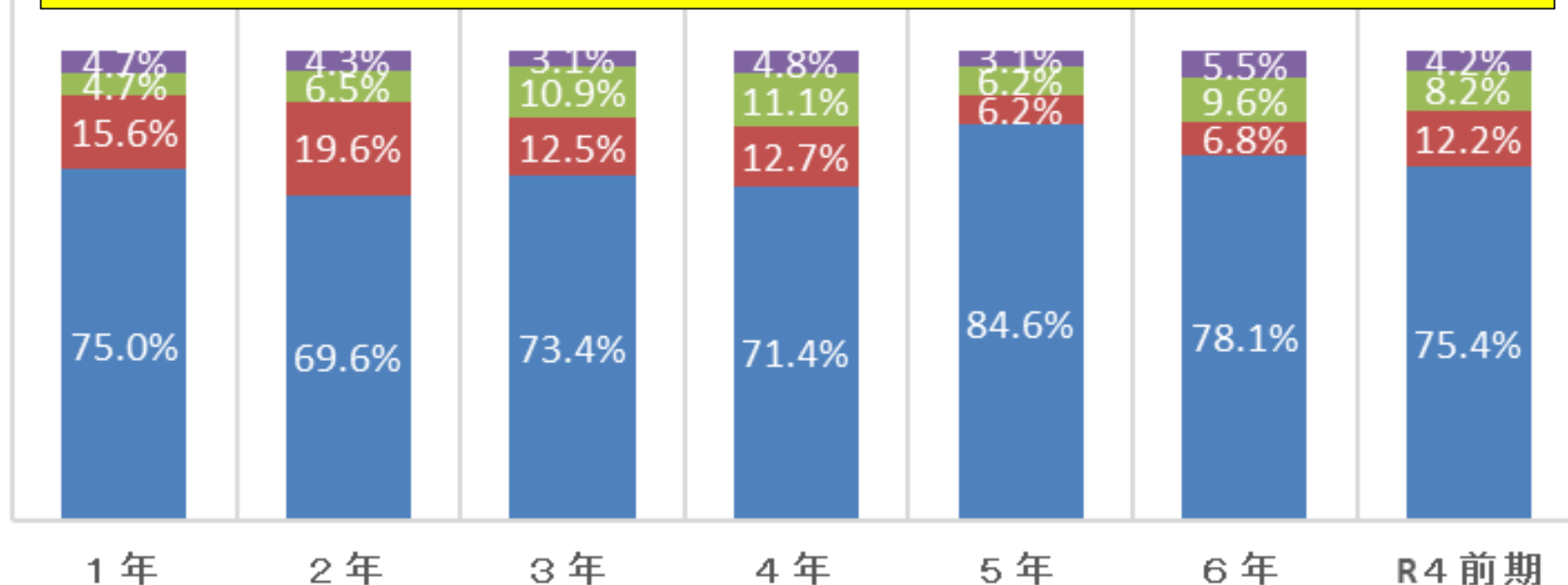
93.7	90.2	89.8	93.7	88.4	85.8	89.8
------	------	------	------	------	------	------

【R3後期評価】

96.2	87.6	86.2	89.4	86.3	86.6	87.0
------	------	------	------	------	------	------

【R4前期評価】

90.6	89.2	85.9	84.1	90.8	84.9	87.6
------	------	------	------	------	------	------

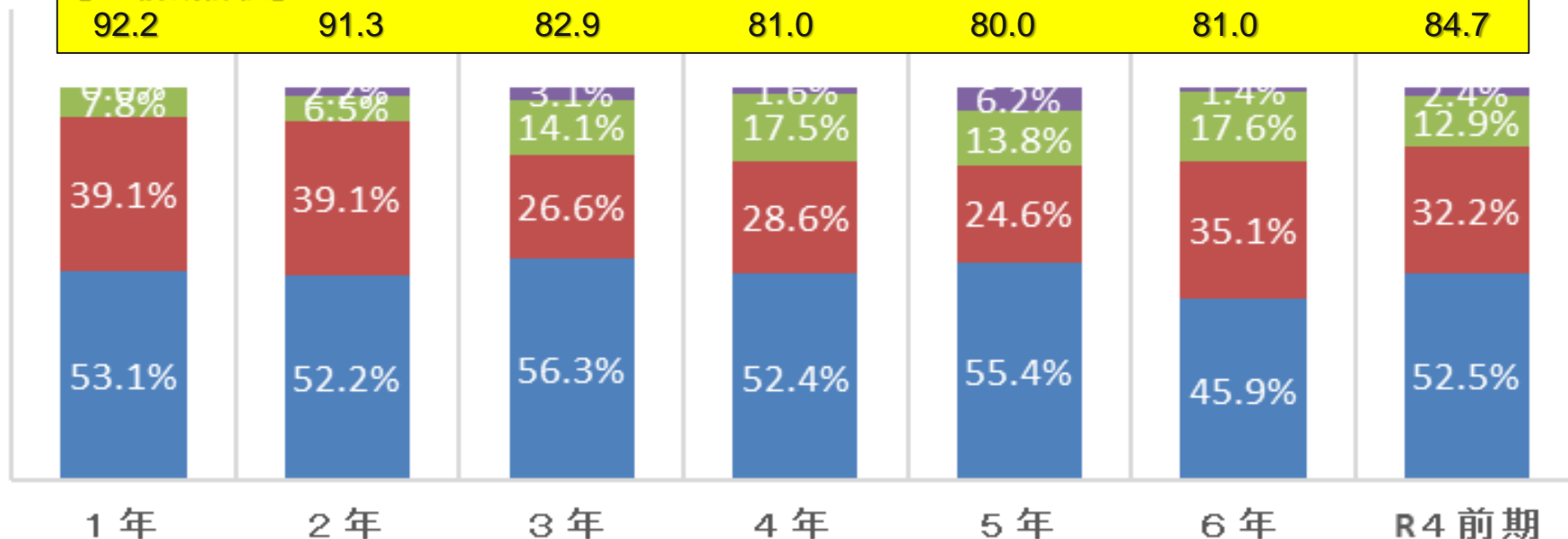


1, 2を合わせると学校全体で87.6%。けが等による送迎を除き、基本的は歩いて8時までに登校が原則です。就寝時刻や起床時刻が影響して遅刻しそうになり車での送迎があるようです。早寝早起き等で生活リズムを整えることが大切です。

令和4年度前期の学校評価（保護者から）

14 お子さんは、「早寝早起き朝ごはん」ができていますか。→早寝早起き朝ごはん運動

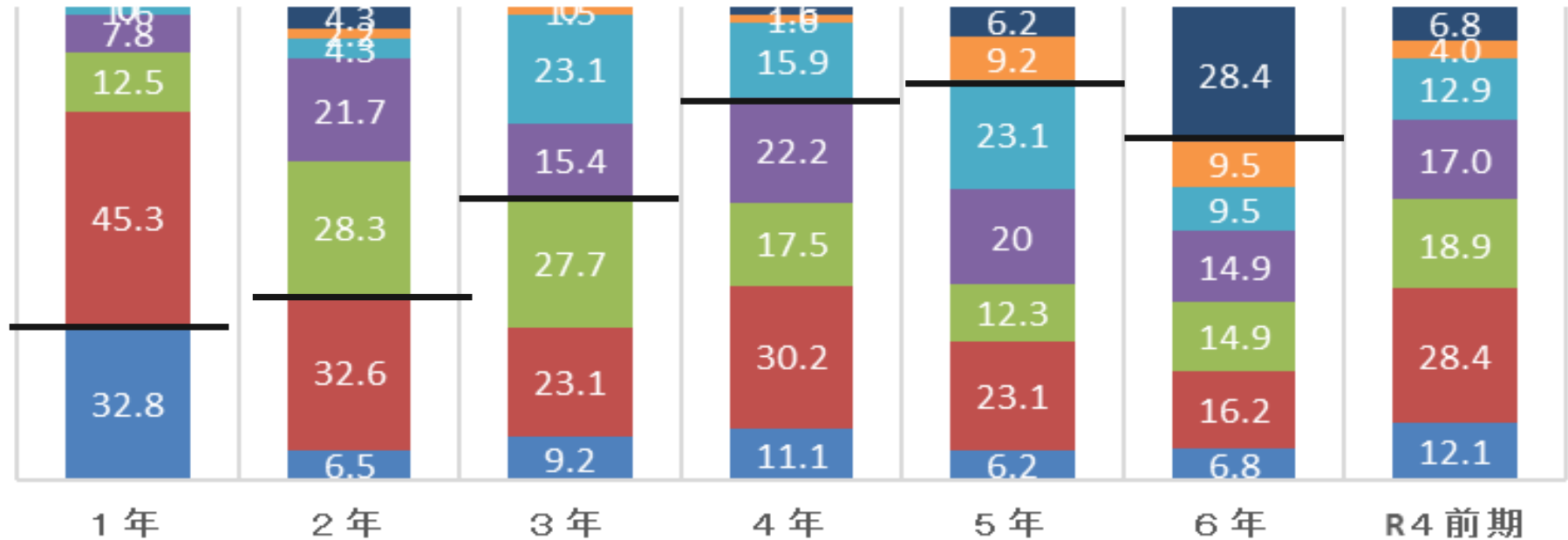
【R3前期評価】	※この数値は1と2を合わせた数					
87.2	81.5	89.8	87.1	82.5	78.6	84.5
【R3後期評価】						
98.3	91.0	83.9	80.3	83.0	75.3	85.3
【R4前期評価】						
92.2	91.3	82.9	81.0	80.0	81.0	84.7



1, 2を合わせると学校全体で84.7%。家庭教育力アップ共通実践事項の一つです。就寝・起床時刻を親子で話し合って決めて早寝早起き朝ごはんの習慣を身に付けることは、子どもの健康や学習にもよい影響を与えられています。朝型の生活リズムを保護者もぜひ取り組んでいただければありがたいです。

15 平日の家庭学習時間

【R3前期評価】 ※この数値は目安時間を達成した者の割合						
71.8	44.5	39.9	19.1	16.5	8.1	33.3
【R3後期評価】						
71.4	56.2	48.3	23.7	15.9	7.3	37.3
【R4前期評価】						
67.2	60.9	40.0	19.0	15.3	28.4	38.5



【本校の家庭学習の目安時間】 **学年×10+20分(読書時間除く)**となっています。

1年生:30分、2年生:40分、3年生:50分、4年生:60分、5年生:70分、6年生:80分

各学年で横線を引いた部分が家庭学習目安時間に当たるところです。横線から上方部分が目安時間をクリアしている児童の割合になります。学年が上がるにつれて目安時間を達成している児童の割合が少なくなっています。今回6年生の家庭学習時間が非常に伸びています。本校は、家庭学習平均時間が県・全国と比較して少ないが、学力は県・全国平均を上回っています。

【本年度PTA活動の成果と課題】

【成果】

○コロナの影響により計画されたイベントが思うように実施できない状況が続いたが、その一方でデジタル化により業務の効率化、簡素が進められ、学校、家庭、地域が互いに連携し、共通理解の下に組織を挙げて取組を行うことができた。

○PTA活動についての参画意識が高まり、家庭教育に対する保護者の意識が高まってきたことが、子どもの姿となって表れ始めている。

【課題】

▲コロナ禍においてもこれまでの取組をより一層充実させるために各組織が役割や課題点を明確にして次年度のPTA活動方針や各部年間活動計画の策定に向けて改善策を盛り込みながら取り組んでいく必要がある。

▲家庭教育の充実に向けて学校主導から保護者が主体となった取組として活動を推進できるようにしていく必要がある。

終